

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

# ほっかいどうの社会保障

2021年5月26日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

## 新型コロナ感染対策強化を 各団体が行政・議会に要請

### 高齢者と介護・福祉労働者等へ「新型コロナワクチン」の早期接種を 介護に笑顔を！道連絡会 札幌市へ要請



5月25日、介護に笑顔を！道連絡会は、札幌市に、高齢者と介護・福祉労働者に「新型コロナワクチンの早期接種」を求めました。

札幌市では、5月13日、新型コロナウイルス新規感染者が過去最高の499人となりました。有料老人ホームやデイサービスなどを含む高齢者施設等でクラスターが増えています。これらを防ぐ対策が求められています。

「介護・福祉労働者」の新型コロナワクチン接種順位は後位

しかし、新型コロナワクチンの順位は、①医療従事者等、②高齢者、③基礎疾患を有する者、高齢者施設等の従事者などになって

いて、**高齢者施設等以外の介護・福祉従業者はさらにその後**となっています。感染拡大防止のためには、接種を希望する感染リスクの高い高齢者への接種と同時に、高齢者施設をはじめデイサービスやヘルパーステーションなどの事業所に勤務する職員への接種を早期に行うことが必要です。

**高齢者接種の混乱の解消を 保育労働者も早期にワクチン接種を**

参加者から、「高齢者が予約の電話を入れてもつながらず、かかりつけ医まで訪問しても予約できない。集合接種場までは遠くて行けない、などの苦情がたくさん寄せられています。スムーズの接種できるように急いで対応してほしい」「高齢者施設だけでなく、障害者施設、保育施設でも感染が広がっています。そこで働く職員のワクチン接種も早期に行ってほしい」など要請。札幌市は、担当部署に届けると答えるに留まりました。

### 三蜜は避けられない「保育労働者」のPCR検査の実施を 札幌保育連絡会

札幌保育連絡会は、「札幌市のすべての保育施設で働く職員に、無料でのPCR検査の実施」を求めて、市議会各会派に働きかけをしています。

保育所は、三蜜は避けられず、子どもにマスクをできない環境で、日々、消毒や換気などに気を遣いながら「保育」をしています。職員は、仕事以外の外出を制限し、家族の健康も気遣いながら生活し、仕事をしています。集団感染の多くは感染経路が不明で自覚症状もない中拡大しているため、集団生活の場において早期に感染を発見することが重要です。

### 緊急事態措置における対象地域・対象業種の見直しと新たな支援策を 北商連

新型コロナ災害によって、中小業者の営業は危機に瀕しています。

5月21日、北海道商工団体連合会は、経済産業省・北海道経済産業局と北海道知事に「緊急事態措置における対象地域・対象業種の見直しと新たな支援策を求める要望書」を提出しました(以下、要望項目)。



- 1、「緊急事態措置」における「飲食業等に対する給付金」を、特定措置区域と措置区域の給付金額の差を是正し、一律、特定措置区域の基準に引き上げること。
- 2、「一時支援金」の受付期間を、2週間程度の延長ではなく、一カ月以上の延長を行うこと。
- 3、給付金の対象を「飲食店」「遊興施設」「結婚式場」等から、少なくとも関連事業者まで対象を拡大すること。
- 4、給付金の対象となる「飲食店等」に従事する、従業員に対する「人件費」の補填を実施すること。
- 5、緊急経済対策とする「消費税税率の引き下げ」を行うこと。